

## 訂正とお詫び

コンサルタンツ北海道大 115 号 p.45 にある「Q&A コーナー」に、誤植がありましたので訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所は、文章中の式(2)について下記のとおりです。(記号  $K$ 、 $N$  の加筆)

$$S_n = \rho g \frac{H^2}{2} \quad \Longrightarrow \quad S_n = \rho g \frac{H^2}{2} KN$$

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

IPCC 第四次報告以来、地球温暖化=CO<sub>2</sub> 主犯説はほぼ世間に信じて疑われなくなった。政府はじめ産学官すべてにおいて主流の考え方となっている。

一方で、そうではないと主張する人もいる。最近の書店店頭には、いわゆる“反論本”も目立ってきた。これらの著書では、地球はむしろ寒冷化傾向にあり、どちらが正しいかは今後5~10年で決着が付くから見てろ、というようなものもある。道内の皆さんはこの寒い8月に、暑い9月に、どう思ったでしょう。

人口爆発、食料、エネルギー、ゴミ、少子高齢化問題などは、“現行犯”として確実に肌で、サイフで感じるのに対し、CO<sub>2</sub> だけは“状況証拠から、きっと犯人”というレベルから真犯人へ格上げされただろうか。大気や海洋も巻き込んだ全地球規模の話として、他とは次元の違う問題であり、予測するのも、肯定も否定も大変。疑問を解く最大の鍵は、宇宙線と雲量の変動予測であるとは、まさに雲をつかむような話だ。

いずれにしても、限りある資源を大切に、便利にかまけたぐうたらな生活態度を改めるべきなのは間違いない。まずは自分を6%減量し、それからeco検定かな。

→支部ホームページ「ECO宣言!」を見てください!

(第116号 編集担当 金 秀俊)